

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	めだかくらぶ		
○保護者評価実施期間	2026年1月15日		～ 2026年2月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	2026年2月10日		～ 2026年2月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	⑨アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している。 ⑩子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している。	児童発達支援管理責任者を中心に、丁寧にアセスメントを行い、課題を抽出している。要資格者の管理者や、支援員がそれぞれ意見を出し、計画作成につなげている。	より客観的に課題分析ができるようAIを活用した支援ソフトの導入を検討する等、計画作成業務を強化していきたい。
2	⑪活動プログラムの立案をチームで行っている ⑫活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	子どもが主体的に活動できるように、イベントや行事等の企画や立案に、子どもの要望や意見を取り入れ、時には、子ども同士で話し合いをして計画を立てることもある。	今まで実施したことのない新しい活動を取り入れ、利用者の満足度が上がるよう工夫をしていきたい。
3	⑰(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している。	相談支援専門員が中心となった部会にも児童発達支援管理責任者や支援員が積極的に参加し、連携を強化するとともに、協議会で実施される研修を受けることで、より高い専門性が得られるように工夫している。	協議会から、独立した地域の事業所連絡会のような協議体の創設なども視野に地域での連携を強化していきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	⑱緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知している。	周知が十分でないとの意見が多くあり、マニュアルは策定されているものの、十分な運用や、職員や保護者への浸透が不十分である。周知の方法に課題がある。	マニュアルを周知させたり、理解を得ていくうえで、簡略化したリーフレットのような形、クイックガイドのような形を作成し、できるだけわかりやすく伝わるように工夫が必要である。
2	⑲事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている。	地域活動への積極的な参加、地域住民への事業所の周知や理解が十分でないと認識している。地域との関わり方には、具体的な取り組みの見直しが必要と認識。	具体的には、社会福祉協議会のお祭りに作品を展示して参加してみたり、地域のボランティア活動の受け入れを積極的に推進したりしてさらに開かれた事業運営のため改善をしていきたい。
3			